

太陽誘電の歩み

◆ 1950年

1950年3月
太陽誘電株式会社設立
佐藤彦八 創業社長と設立当時の営業拠点(東京都千代田区)



1950年9月
チタン酸バリウム磁器コンデンサ「ルチルコン」を商品化



1954年9月
小型フェライトコア「フェリットコア」の生産開始

◆ 1960年

1964年9月
技術研究所を設立

1965年
自社製フェライトコアを用いたインダクタを商品化



1967年5月
台湾・台北市に初の当社現地法人「台湾太陽誘電股份有限公司」を設立

◆ 1970年

1970年3月
東京証券取引所市場第二部に上場、1973年には一部に指定替え

1976年7月
アキシアルリード型磁器コンデンサを世界で初めて商品化



1977年4月
アキシアルリード型インダクタを商品化

1977年10月
世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発

◆ 1980年

1984年7月
ニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサを世界で初めて商品化



1986年6月
EMCセンターを開設

1988年9月
世界初の追記型光記録メディア「CD-R」の商品化を発表



◆ 1990年

1998年6月
電源回路用巻線チップインダクタ「LBシリーズ」を商品化

1998年11月
R&Dセンターを開設



◆ 2000年

2000年
海外4生産拠点を同時立ち上げ

2001年4月
Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格Ver1.1認証を世界で初めて取得

◆ 2010年

2010年3月
太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化

2012年5月
メタル系パワーインダクタ「MCOIL™(エムコイル)」を商品化



2014年9月
0201サイズ積層セラミックコンデンサを商品化

